

神経難病リハビリテーションセンター開設のご挨拶

現在の医療では完治させることのできないとされている「神経難病」に対してリハビリテーションは、機能の維持・向上するために重要な手段となります。

しかしながら現在、神経難病でお困りの患者さんや家族の方々が利用できるリハビリテーションに関する専門の相談窓口は、全国的にもまだ限られた状況となっております。

このような背景からこのたび、兵庫県の西播磨地域において平成18年7月の開設以来、神経難病リハビリテーションに関する「治療・研究」、「研修・養成」、「情報提供」及び「相談」を行ってきた兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンターに、神経難病に関する一体的なサービス提供を行うことを目的とした「神経難病リハビリテーションセンター」を開設することといたしました。

西播磨総合リハビリテーションセンターの諸機能の活用と、ネットワークを有する関係機関との連携を図りながら、リハビリテーションを必要とする患者さんや家族の方々が抱えておられる神経難病にかかる困りごとが緩和できるサービスの提供に努めてまいります。

当センターとの距離に関係なく、どうかお気軽にご連絡・ご相談ください。

平成30年8月

兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター所長
(兵庫県立リハビリテーション西播磨病院長)

加藤 順一

兵庫県立リハビリテーション西播磨病院副院長

水田 英二

～ 神経難病リハビリテーションセンターのサービス内容 ～

当センターは、以下の5つのサービスを提供します。

【 相 談 】

リハビリテーションをはじめとした療養・生活・就労などの相談をお受けします。

【 治療・研究 】

パーキンソン病などのリハビリ治療及びリハビリ・療養支援ツールの開発等を行います。

【 研修・養成 】

医療・介護支援者及び患者・家族向けの研修並びにサポーターの養成を行います。

【 情 報 提 供 】

福祉用具・福祉サービスやリハビリテーションをはじめとした医療情報の提供を行います。

【 交 流 】

患者・家族の交流の場づくり、支援を行います。

※ 神経難病リハビリテーションセンターへの連絡等詳細はリーフレットをご覧ください。

兵庫県立リハビリテーション西播磨病院における 神経難病リハビリにかかる治療・研究等について

兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター内にある兵庫県立リハビリテーション西播磨病院においては、神経難病患者に対して、集学的な介入を実施しております。

現在、代表的な神経難病であるパーキンソン病患者を対象に、様々な職種により以下の治療・研究等を行っております。

1 治療等について

- (1) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、音楽療法士、園芸療法士による個別リハビリと自主練習

(パーキンソン病のリハビリとして世界的に効果が検証され日本でも普及してきている大きな運動を促す LSVT-BIG、大きく聞き取りやすい発声を促す LSVT-LOUD も実施しております。※資格保持セラピスト LSVT-BIG 5名、LSVT-LOUD 4名)

- (2) 神経内科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、音楽療法士、体育指導員による集団リハビリ

(教育プログラムと運動プログラムに分かれており、教育プログラムでは疾患、生活の工夫、薬、食事各担当者が相談も受け付けております。参加可能な対象患者に対して運動プログラムでプールでの水中運動や、ダンス(リズム運動)を行っております。集団リハビリではみんなで楽しくワイワイ運動をしたり、患者さん同士で悩みを共有し、工夫などを相談したりできる場にもなります。)

- (3) 神経内科、リハビリ科、精神科、泌尿器科、整形外科、歯科による精査ドーパミンシンチ、脳血流シンチ、MIBG 心筋シンチ、MRI、嚥下内視鏡、嚥下造影検査、心肺運動負荷試験、神経心理検査、尿流動態検査、脊椎評価と薬物療法、装具療法、入れ歯の作製を行っています。

- (4) 医療ソーシャルワーカーによる社会的支援

難病医療費助成制度及び在宅サービス等ご利用できる公的制度の情報提供を行います。

2 研究等について

現在、パーキンソン病のリハビリとして世界で効果が検証され日本でも普及してきている大きな運動を促す LSVT-BIG、大きく聞き取りやすい発声を促す LSVT-LOUD の効果検証も実施しております。

さらに、パーキンソン病の薬物治療、外科的治療及び従来のリハビリで対応困難な症状（例えば、腰曲がり、すくみ足、認知機能障害）に対して、先進的なリハビリ法の開発、研究を試みております。

【現在取り組んでいるリハビリ研究】

- (1) 腰曲がりに対して腹筋群へのリドカイン注射を併用したリハビリ
- (2) すくみ足に対しては反復経頭蓋磁気刺激治療や新たな外的刺激 (Cue) デバイスを併用したリハビリ
- (3) 認知機能障害に対してはプールでの水中運動やエアロバイク、ノルディックウォーキングなどによる有酸素運動
- (4) 療法支援ツールの開発、ロボットによるリハビリテーションの導入



フェイスブック

神経難病リハビリテーションセンター専用のフェイスブックを開設しています。気軽に訪問していただき、いいねをお願いいたします。



<https://www.facebook.com/神経難病リハビリテーションセンター-749414431931428/>

西播磨総合リハビリテーションセンター全体の情報はこちらからご覧になれます。

【センターホームページアドレス】

<http://www.hwc.or.jp/nishiharima/index.php>



フェイスブックQR



ホームページQR



交通のご案内



【JR相生駅から】

車で約20分(専用駐車場あり)

バスで約30分

(ウエスト神姫バスSpring-8行き、西播磨総合リハビリセンター前下車)

【JR新宮駅から】

バスで約26分

(ウエスト神姫バス粒子線医療センター行き、西播磨総合リハビリセンター前下車)

【JR姫路駅から】

バスで約60分

(神姫バスSpring-8行き、西播磨総合リハビリセンター前下車)

【山陽自動車道播磨ジャンクションから】

播磨自動車道へ直結、播磨新宮ICから車で約6分

〒679-5165 兵庫県たつの市新宮町光都1丁目7番1号

兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター

TEL0791-58-1050 (代表)



兵庫県立
西播磨総合リハビリテーションセンター

神経難病 リハビリテーションセンター



平成30年9月開設

神経難病

リハビリテーションセンターとは

神経難病リハビリに関する治療・研究、研修・養成、情報提供及び相談支援等の機能を活用し、必要な関係機関とも連携しながら、リハビリテーションを必要とする患者や、家族の方々がかかえている問題の解決を図ってまいります。



- 病気や治療のこと
- 日常生活の悩みのこと
- 仕事のこと



相談

あんなこと
こんなこと

運動が
大切です

**治療
・
研究**



- パーキンソン病などのリハビリ治療
- リハビリ・療養支援ツールの開発



マスコットキャラクター
にしかちゃん

**研修
・
養成**



いっぱい
勉強しな
くちゃ

- 専門職・一般向けの研修
- 当事者・家族向けの研修
- サポーターの養成

交流



みんなで
集まろう

神経難病リハビリ
テーションセンター
のイメージカラーは
レインボーだよ

- 交流の場づくり
- 自主組織活動の支援
- ネットでの仲間作り

**情報
提供**



最新情報
をお届け
します

- 福祉用具のこと
- 福祉サービスのこと
- 最新医療や治療のこと



相談について

- ご相談はまずFAX又はメールで承ります。
【直通FAX】 0791-58-1072
【直通メール】 nanbyo@hwc.or.jp
- 必要事項（①住所②氏名③年齢
④連絡先⑤ご用件）を明記いただき、
送信してください。 ※様式はセンター
のホームページよりダウンロードできます。
- 受付後、担当の職員より確認の連絡を
いたします。
- 面接相談は毎週水曜日の午前9時～
12時に、「総合相談・地域連携室」
にて承りますので、FAX又はメールで
ご予約のうえお越しください。
- 相談は無料です。
- 秘密は厳守しますので、ご安心ください。

